



北海道遺産・北見市指定文化財 **ピアソン記念館**

第105号

ピアソン便り

2022. 7.31

発行人：福井 洋之（理事長） 編集人：伊藤 悟（理事）

NPO 法人ピアソン会事務局

（事務局長 伊藤 悟）

〒090-0036

北見市幸町7丁目4番28号

Tel.FAX 0157-31-1215

ピアソン記念館内

午前 9:30 ～午後 4:30

e-mail アドレス

pierson@yacht.ocn.ne.jp

ヴォーリス建築文化全国ネットワーク2022年度全国大会に参加中！

NPO 法人ピアソン会 副理事長 中山 一夫



写真上／総会の会場となった、京都バプテスト教会。全国から集まった会員。

三年ぶりの全国大会は、六月十一日・十二日に京都・近江八幡で開催されました。

第一日目の「京都バプテスト教会」では、多くの関係者が集う中で、総会の審議に参加しました。その後の見学会では、京都バプテスト教会の説明によると、一九二二年のヴォーリスの設計で、現存最古の礼拝堂になります。内部も改修されながら、歴史的に貴重な建物だということが分かりました。

また、十七時から「東華菜館」で交流会が開かれました。この建物は、ヴォーリス設計で、西洋料理店八尾政として一九二六年にスパニッシュ・バロック様式で建てられたものです。日本最古のエレベータに

写真下／交流会の会場「東華菜館」

乗り会場に入り、交流会では、団体会員や個人会員による報告や交流があり、ヴォーリス建築を保存継承する団体の熱意やその魅力に惹かれている会員の雰囲気を感じることができました。

第二日目は、都合により「豊郷小学校旧校舎」訪問が中止となり、近江八幡市安土町にある「旧伊庭家住宅」を訪問するところになりました。この「旧伊庭家住宅」は伊庭慎吉氏のアトリエ兼居宅として、一九一三年にヴォーリス設計で建てられていて、和風建築の手法を多く取り入れた、天然石スレート葺きの屋根の洋館は文化的にも魅力溢れるものでした。一部「上げ下げ窓」があったり、階段の手すりや丸みのある角など、ピアソン邸にも取り入れられているところが見られました。

近江八幡市には、ヴォーリス

東華菜館（旧矢尾政レストラン）
竣工：1926（T15）
構造：鉄筋コンクリート5階建



写真右／交流会で乾杯の首領をとる中山ピアソン会副理事長。
写真左／旧伊庭家住宅の見学。



建築が七三ヶ所もあり、ピアソン邸以外で細部に渡り初めて見学ができ、ヴォーリス建築の素晴らしさを改めて堪能できた二日間でした。

Caroline Peck (Pierson) Bigelow

- ・1865.7.8. エリザベス市生まれ
ピアソン兄姉妹の末っ子
- ・1942.2.7. 死亡、76 歳
埋葬地、ローズデール墓地
- ・1888.4.10. W.S. ビゲローと結婚
※ William Smith Begelow
(1867-1930)

*この表は、Web サイトなどを参考に北原が作成しました。

からの情報をまとめること
ネット上にある家系調査サイト
妹のキャロラインについて

この「届」は、大学が同窓生の
動静を確認するため恒久送付先に
送付したもので、記入者は、ピア
ソン宣教師の妹であるキャロライ
ン・ビゲローで、一九四一年に記
入し報告したものであることがわ
かります。

投稿
ピアソン忌 七月三十一日に寄せて
『一枚の書類』
ジョージ・P・ピアソン宣教師の死亡を届ける文書
〜妹のキャロライン・ビゲローが
プリンストン大学同窓会に送付〜

北原 俊之

Prinston Theological Seminary (プリンストン神学校)
Necrological Report (死亡の届)

本校に、下記の者に関するデータをいただき感謝致します。
氏名 ジョージ・ベック・ピアソン 牧師

- 1 大学入学前の学歴
ピングリー・スクール (エリザベス、ニュージャージー州)
- 2 大学名 / 入学日時 / 学位 / 年度
プリンストン大学 / 1 年次から入学 / 卒業資格 [学士]
/1882 年度
- 3 他の神学校の在学歴 なし
- 4 牧師資格取得 (年月日、授与組織) 1888 年
(ニュージャージー州) エリザベス市長老派中会
- 5 牧師任命 (年月日、任命組織) 1888 年
(ニュージャージー州) エリザベス市長老派中会
- 6 教会勤務経歴 (pastor あるいは stated supply)、就任から離任までの
日時、期間 なし。
1888 年に牧師任命直後に、彼は日本に行きました。
日本では宣教師として 40 年間活動しました。
- 7 死亡 (日時、場所、死因)
1939 年 7 月 31 日、フィラデルフィアにて。糖尿病のため。
- 8 埋葬地
ローズデール墓地 (ニュージャージー州オレンジ)
- 9 役職歴 (米国長老派教会の常任書記長、あるいは教会総会議長など)
私の知る限りでは、なし。
- 10 名誉学位 (取得日時、授与校)
神学博士 (D.D.)、1912 年。プリンストン神学校。
- 11 結婚歴 (日時、場所、妻の旧姓 (正式)に)。再婚であれば、最初の
妻の死亡日時)
1895 年、東京で。旧姓アイダ・ゲップ。1937 年死亡。
結婚した際は、夫人は米国聖公会の宣教師でした。
- 12 (残された) 夫人の現住所
- 13 子供の氏名、現住所 子供はいない
- 14 出版物の書名、出版日時。特記事項
書籍 「いざ最奇の村」、「日本での 40 年」、
「キリストの十字架」、「略註舊新約全書」
※彼が注釈をつけた聖書は、労を惜しまずに 2 度以上
改訂された長年の労作でした。

データの記入者ー 記入日ー 1941 年 3 月 31 日
ピアソン博士の妹
キャロライン・ピアソン・ビゲロー
(W. S. ビゲロー氏の夫人)

この書類は、プリンストン神学校 (ニュージャージー州プリンストン) の学
生部長にご返送ください。

ピアソン宣教師の葬儀
帰国して 11 年後の 7 月 31 日、ピ
アソンは、アイダ夫人の弟マック
スの家 (フィラデルフィア) で亡
くなりましたが、葬儀は故郷エリ
ザベスで行われました。

ピアソン宣教師葬儀メモ

- 1 召天日時 1939(昭和 14)年 7 月 31 日 (月)
- 2 場所 フィラデルフィア市 R・マックス・ゲップ邸
住所: 4047 Pine Street, Philadelphia, PA 19104
※ 2 週間ほど滞在中であった。
- 3 葬儀 8 月 4 日(金)午後 エリザベス市 オグデン葬儀場
住所: 485, North Broad, Elizabeth, NJ
- 4 葬儀参列者 (推定) 兄デイヴィッド・H、姉メアリー・H、妹キ
ャロライン・ビゲロー、日本人は生月前氏のみ。15~16 名。
司式: 第一長老教会チャールズ・アレグザンダー・ロス牧師
- 5 埋葬 ローズデール墓地 アイダの隣に 近親者のみ参列

*この表は、新聞記事、書籍などを参考に北原が作成しました。

一通の書簡 試訳
米国伝道局本部からの連絡文書
〜ピアソン夫妻退職帰国
に際して、不動産の処
分を裁定する〜

書簡 その一
[1928.6.19 No.144]
裁定事項 No.74
師ジョージ・P・ピアソン夫妻
(北海道) の財産について
この件 (の概要) は、伝道局書

記官の連絡文書 No.73 (5 月 10 日
付け) にて報告されました。伝道
局本部執行部としては、心よりの
感謝と大きな誠意を持って、次の
ように裁定しました:
「本部執行部は、下記の財産につ
いて、日本伝道団・牧師ジョージ・
P・ピアソン博士夫妻から寄贈さ
れた北海道中会の伝道事業に関わ
る「財産として」、「社団」の管理
というかたちでそれらを受け入れ
ることに評決しました。「その財産
の内容は」伝道局書記官の連絡文
書 No.73 (5 月 10 日付け)、本部執

行部裁定事項No.74に記載されている通り…

a. 土地6区画(各98坪) 1野付牛の教会堂、牧師館、幼稚園、並びに、ピアソン博士の図中の4番、5番、6番と記された3つの土地。

日本の野付牛基督教会として本部が預かるか、あるいは、この提案が関係者の理解を得るのであれば1即座に教会維持財団に「引き渡して」管理を任せる。
b. 寄宿舍(「ピアソン寮」)の建つ土地一五〇〇坪(野付牛の伝道団財産の土地に隣接)。
c. 訓子府の土地・建物(「坪数不明」)1伝道所として使用。

本部執行部のみならず米国伝道局として、ほぼ四〇年間にわたる信仰心厚い奉仕に専念したあと、その任地を去ろうとしている二人の献身的な宣教師のその寛大さに対して、最大の感謝の意を表します。」(一九二八年六月四日可決採択)」

ピアソン博士夫妻は、目下アメリカ本国への帰国の途上にあると思います。私たちは、夫妻の帰還を歓迎すべく心待ちにしています。執行部書簡No.12(5月18日付け)にて、夫妻の本国帰還と引退についての執行部裁定をお知らせした

ことが思い出されます。

書簡 その二

「1929.12.17 No.167」

No.17

北海道・野付牛の住宅に関わる財産の売り払いについて

北海道のことについて私の知識理解が不十分であるため、ピアソン博士にあてて二、三の説明を書きました。その中の特に、(書簡No.107)四頁目の最後の段落の次の説明文中にタイプライターで打ち間違いをしておりました。次のようになっています。

「野付牛の財産にこれを加えることはなんとしても達成されるよう計らいください。」と。これは明らかに「旭川のこと」についての誤りです。ピアソン博士は、北海道の三ヶ所の拠点の関係をとても明晰な説明をしていただき、事態が米国本部に伝わったことで、本部では次のような裁定をしました。

「日本伝道団執行役員決定第十七号において示された、北海道中会の野付牛住居財産(一一一〇坪の土地と住宅)を適切な価格(最低価格金貨2975ドル)で売り払いたいとする日本伝道団の許可願い”を米国本部としては了承しま

した。この財産が売却された際には、米国本部としては、売上金は北海道で得られたお金だという名目でその使用について検討します。(一九二九年十二月十六日決済)」

この売り払いでの収益金は、関係した伝道団の独自の資産ということにはなりませんし、また、「そのお金は米国本部のお金に統合される」他の予算が(財産リスト上の優位順と負債の支払いに応じて)配置されるのと同じ時期に改めて配分しなおすことになることも併せてご了承願います。

日本の事務局長の記載によると、ピアソン博士だけが、野付牛のこの財産を自ら購入したいと考えているようでした。ピアソン博士は次のように書いています…「私のきわめて個人的な判断ですが、この土地建物については伝道局が三、四年ほどの期間で借り上げていただくのが最善策だと思えますし、その頃には、ひよっとすると野付牛には居住宣教師がいなくてもよい地域であることがはつきりするかもしれません。しかし、伝道局の考え方が好意的で契約条件が良好であったとしても、野付牛の財産を売り払うという提案については、私は、どのようなことがあっても、お断りしたいと考えています。」



三浦綾子原作／山田火砂子監督

映画「われ弱ければ」 矢嶋榊子伝

北見での上映決定!

今から105年前一九一七(大正6)年、野付牛町(現北見市)で、ピアソン邸に集まり遊郭設置反対運動を戦う婦人たちの応援に、矢嶋榊子(82歳)は来ていました。その記録は、現在もピアソン記念館に残されています。

明治・大正という、女性が一人の人間として尊重されることのなかった時代に、女子教育に力を注ぎ、女性解放運動に人生を捧げた矢嶋榊子の生涯を、現代を生きる女性達へのメッセージを込めて作り上げた本作を、現代ぶろだくしょんとの共催で、ピアソン会が自主上映します。

◎期日／2022年10月29日(土)

・午前の部 10時30分上映

◎会場／北見芸術文化ホール・中ホール

◎時間／上映時間110分、上映前に山田火砂子監督から、この作品についてのトークがあります。

◎前売／1200円(予定) 8月下旬から発売予定!

※詳細は、8月中旬頃決定し、報道等にて周知いたします。

「ニュージージーランドからの便り」第34回



ピアソン会顧問 グラハム・ハード氏

2022.6.18

返信

◆昨日の丁寧な誕生日メッセージがありありがとうございます。北見に住んでいた頃の何回もの嬉しい誕生日会へ皆さんやメンバーと共に美味しい食事、素晴らしい交流そしてお心のこもった贈り物などを忘れません。今年は、その日、自宅で心地よく平穩に過ごしました。来週火曜日、21日に姉たちの家でお祝いの食事が予定されていますから、出かけてきます。

◆北見の皆様方が健康で、無事でありますように。

◆昨日の丁寧な誕生日メッセージがありありがとうございます。北見に住んでいた頃の何回もの嬉しい誕生日会へ皆さんやメンバーと共に美味しい食事、素晴らしい交流そしてお心のこもった贈り物などを忘れません。今年は、その日、自宅

2022.7.7

冬の季節の住人から

夏の地域の皆様へ

◆最近の興味溢れるメール、ありがとうございます。ちよつとご無沙汰になってしまいました。

◆庭のレタスやホウレンソウを集め、ミカンも取りこみました。今年には豊作です。

◆古い宝物の書籍を見つけたとはうれしい。【注】ハード氏は、2006年3月北海学園北見大学閉校に伴い、札幌の新設北海商科大学へ移られた。離別にあたりメ

◆漢字の研究は続き、今は常用漢字の旧字体を学び書写しています。書くのには難しいですが、知れば知るほど魅了されます。新字体になるまでは、子供たちにはさぞかし難しかったことでしょう。

◆蕪村と几童による俳諧集「桃李ももすもも」を読んでいます。その時代の普通人の生活や感情を描写することで訴えかける。両者間のつながりはちよつと距離があるものの、独自の立ち位置は明確です。

◆蕪村と几童による俳諧集「桃李ももすもも」を読んでいます。その時代の普通人の生活や感情を描写することで訴えかける。両者間のつながりはちよつと距離があるものの、独自の立ち位置は明確です。

◆ニュージージーランドでは最近コロナ感染者が再び増加傾向ですが、私や他の家族は健康です。

北見の皆様方もそうありますように。

グラハム・ハード

受講者募集案内!

第35回文化サロンdeピアソン 「モイストポップ作り講習会」

- ◎日時 9月14日(水)
午前の部(10時~12時)
午後の部(13時~15時)
- ◎講師 増井五夜子氏
- ◎材料費 1200円
- ◎持ち物 エプロン、ハサミ、お手持き、**※マスク着用**
- ◎予約申込先 ピアソン会 (電話 0157-31-1215)
- ※予約受付は、**8月23日**から



花やハーブ、スパイスなどを粗塩に混ぜ合わせて作る室内香。一人で2個の製作になります。

道新文化センター講座 「謎解き」 ピアソン夫妻とノツケウシ 〜矢嶋榊子との出会い〜 講座終了報告

6月13日(月)・20日(月)の2回開講された講座は、無事終了しました。昨年からはじめた「謎解き、ピアソン夫妻とノツケウシ」の講座は、北見市民がよりピアソン夫妻のことを知ってもらえるようにと、「ピアソン学事始」版の「外伝シリーズ」としてスタートしたものです。昨年はコロナ禍で、当初予定開催日が一度順延を余儀なくされましたが、本年は予定通りの開催となりました。ただし、13日一回の開催予定で準備したところ、すぐ予定人員に達し、急遽次週の20日に2回目を開催することになりました。

した。ピアソン夫妻への関心が高まっていくことを感じています。

この講座で、矢嶋榊子と同行してきた守屋東矯風会事務局長の「野付牛三日間」(婦人新報掲載)の文章が紹介され、当時の遊郭設置反対運動の様子を知ることができました。

今後とも、道新文化センター講座を通じて、「謎解き、ピアソン夫妻とノツケウシ」シリーズを継続する予定です。

写真下/矢嶋榊子来訪の記念写真 (1917年9月)



編集後記

新型コロナウイルス感染も減少せず、4回目のワクチン接種も進められています。気候変動も全世界的に吹き荒れ、熱波や大雨など、一体どうなるのでしょうか? ウクライナへのロシアの侵略も続いています。国内でも多くの問題が! こんな状況ですが、ピアソン会主催で映画会を実施することになりました。詳しい内容はまだ未定な部分もありますが、この二年間、対外的な事業を実施していませんでしたので・・・協力をよろしくお願いします!

(理事兼事務局長 伊藤 悟)

瞳ふあっしょん・瞳けあ
めがねのよっしー
代表 岩井 敏 忠
〒090-0043 北海道北見市北3条西3丁目
携帯.090-2693-1919 TEL.0157-57-3664
定休日/毎週木曜日・営業時間/10時~19時